

全国保健師長会

栃木県支部便り

発行
全国保健師長会
栃木県支部
令和7年8月吉日
第47号



支部長あいさつ

栃木県支部長 太田由希子(安足健康福祉センター)

全国保健師長会栃木県支部活動については日頃から御協力をいただき感謝申し上げます。昨年度に引き続き支部長を務めさせていただきます太田と申します。

当支部活動につきましては、日頃から、御支援、御協力をありがとうございます。

さて、地域社会を取り巻く環境が大きく変化し、地域の健康課題は多様化・複雑化しております。厚生労働省においては、「2040年を見据えた保健師活動のあり方に関する検討会」において、保健師に今後どのような役割が期待され、どのように変わっていくべきか保健師の未来像についての議論がされています。

また、全国保健師長会の活動に対する国や災害関連の各種関係団体からの期待が高まっています。このような背景を踏まえ、令和7年度の全国保健師長会の活動方針は、次のように示されました。

～これからの公衆衛生看護活動においては、地域住民のヘルスリテラシーを高め、住民自らが健康を維持できる活動への支援やヘルスプロモーションの理念に基づいた健康づくり、地域の潜在化した問題を顕在化させ多職種連携による支援、つながり・支え合いなどを重視しながら、未来につながる健康なまちづくりを創造し、展開していく必要があります。

また、中堅期保健師の不足と次期統括保健師の育成等は喫緊の課題であり、OJT やジョブローテーションのほか、保健師確保についても、これまでのやり方を転換させるべき時代が到来しています。地域で活躍する専門職が増える中であって、保健師としてのアイデンティティの獲得、公衆衛生看護技術の段階的な獲得や、共に育ちあえる職場風土づくりなどとともに、暗黙知を形式知化し、定着していくための現任教育の充実及び保健師の役割・魅力発信が不可欠です。～（令和7年度全国保健師長会活動方針から抜粋）

会員の皆様方の御所属におかれましては、未来に向けた様々な構想や人材育成等の取り組みに日々、御尽力されていることと存じます。

『未来のために今できること』を念頭に置き、地域保健の向上や保健師活動の継承に寄与できるよう、今年度も、研鑽や情報交換の機会を設け、会員の皆様と共に、焦らず着実に課題に取り組んで参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度全国保健師長会活動テーマ **未来を見据えた公衆衛生看護活動の展開**

～予防活動の実践、そして地域に根付く保健師活動の継承～

- 1 地域保健活動の推進にかかるマネジメント機能の発揮に向けた取り組みの推進
- 2 地域診断と科学的根拠に基づく公衆衛生看護活動及び人材育成の推進
- 3 自治体間のネットワークの構築やブロック、支部における効果的な活動の推進
- 4 地域の公衆衛生看護活動の推進に向けた会からの情報発信の促進

令和7年度

全国保健師長会栃木県支部総会 報告

令和7年5月24日（土）にとちぎ健康の森において41名の会員の御出席のもと、総会を無事に終了いたしましたことを御報告いたします。
今後とも御協力を賜りますよう、お願いいたします。

令和7年度

会員加入状況及び役員紹介

《全国保健師長会加入状況》

	県(人)	市町(人)	計(人)
平成30年度	47	112	159
令和元年度	44	108	152
令和2年度	45	109	154
令和3年度	41	111	152
令和4年度	41	109	150
令和5年度	35	108	143
令和6年度	35	113	148
令和7年度	31	110	141

《役員紹介》

職名	氏名(所属)
支部長	太田 由希子(安足健康福祉センター)
副支部長	橋本 美羽(栃木市)
副支部長	若林 珠江(精神保健福祉センター)
書記	小野澤 典子(安足健康福祉センター)
会計	今里 澄江(足利市)
監事	吉田 琴(宇都宮市)
本部広報委員	佐藤 由紀子(県南健康福祉センター)
本部調査研究委員	福原 円(小山市)
健やか親子特別委員	鈴木 祐美(県北健康福祉センター)
栃木県看護職員確保対策委員会	吉田 琴(宇都宮市)
栃木県保健師現任教育のあり方検討会委員	太田 由希子(安足)

全国保健師長会

北関東甲信越ブロック第1回支部長会議報告

7月13日（日）全国保健師長会北関東甲信越ブロック支部長会議が開催されました。
全国保健師長会の動きについての報告、研修予定等の周知がありました。

- 全国保健師長会調査研究事業(令和6年度)結果からオンライン研修の開催
(管理期：7月27日(土) ワールドカフェ 中堅期：未定)
- 全国保健師長会設立50周年(R10)記念事業特別委員会の設置
- 健康危機に関する国や他団体からの参画依頼に対応するための常任理事の新設
- 小規模自治体の現任教育のための好事例調査

○北関東・甲信越ブロック研修会 10月25日(土) 会場：つくば市

○全国保健師長研修会 11月14日(金) 会場：徳島県 ハイブリッド

○全国保健師長会代議員総会 11月15日(土) 会場：徳島県 ハイブリッド

全国保健師長会栃木県支部 第1回研修会 報告

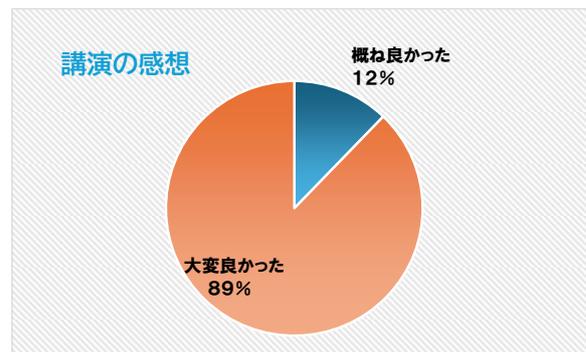
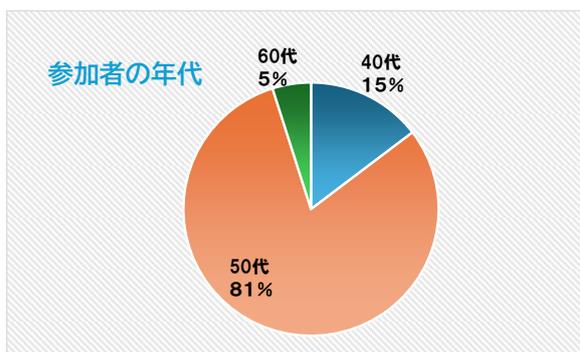
- 1 日 時 令和7年5月24日（土）14時～16時
- 2 場 所 とちぎ健康の森 教室A
- 3 講 話 「管理期保健師が今、学ぶべきOJT
～自己成長感を感じられるOJTを目指して～」
- 4 講 師 獨協医科大学看護学部/大学院看護学研究科
特任教授 守田孝恵 氏
- 5 参加者 42名



守田先生の講話から

- 🌻保健師活動の「対象」と「軸」。対象者（住民）が健康に暮らし続ける「地域」に向き合う。保健師が対象者に対して「何とかしなければ！」と感じ、思考し、動く（仕事をする）
- 🌻現実問題としてこなさなければならない仕事（業務）に追われて保健師としての活動ができていない・・・それはどういうこと???
- 🌻保健師の業務は分刻みの仕事でサイズの異なる PDCA を保健師の頭の中で同時回転。忙しい毎日の業務は種類の異なる PDCA を同時に回転させる高度な業務。分刻みの業務が積み重なって、つなまって、地域ケアシステムを構築している。このような複雑で高度な業務を担っている。
- 🌻日常業務の中で行われるOJTは、経験の言語化（報告）、経験の想起（共感・助言）経験値の集積（経験の意味づけ）、経験値の拡大（伝承）を行っていく。
- 🌻保健師管理職として保健師に誇りを！

受講者アンケート結果(回収率 98.7%)



- ・具体的な保健師の魅力について再確認した。後輩にも一緒に訪問して伝えていきたい。
- ・軸のある保健師活動がみえた。PDCA サイクルを日々回せるようにしていきたい。
- ・保健師のOJTの思いが変わった。保健師の活動（公衆衛生）をARTで考えたことがなかった。
- ・「何とかしたい！」という保健師の倫理を引き出し、その思いを大切にしながら保健師活動を展開、実践できる保健師を育てたい。
- ・日頃感じていることをGWで表現でき、先生からも講話の中で多々発信されとても勉強になりました。「そうだな」と実感するようなことが多々ありました。

全国保健師長会では様々な委員会活動があり、日々、保健師の資質向上のために活動しています。栃木県支部から役員、委員を担っていただいているお三方に寄稿をいただきました。佐藤様、鈴木様、福原様ありがとうございました。



全国保健師長会役員活動のご紹介

常任理事(広報担当委員長) 佐藤 由紀子さん(栃木県県南健康福祉センター)

今年度から全国保健師長会常任理事(広報担当)に就任しました佐藤と申します。

全国保健師長会には、3つの部会と7つの委員会があり、その一つである広報委員会は、委員長を含めて関東エリアの県、市の保健師による5名で構成されています。主な活動は、年3回都内で集まり、月刊「公衆衛生情報(全国保健師長会だより)」の編集や全国保健師長会ニュースの発行など、会員活動の広報業務を行っています。

私は、令和6年度から広報委員として活動し、今年度からは委員長に就任。それに伴い、常任理事(広報担当)の役割も担うこととなりました。

常任理事は2年任期で、広報担当を含め9名おり、会長及び副会長を補佐して、会務を分掌しています。常任理事のうち、広報、総務、会計の3理事は、会長及び副会長とともに運営会議のメンバーとして、毎月都内で開催される会議に出席し、全国保健師長会全体運営の調整、国への要望等の諸事項に係る案の検討、8ブロックとの共催による研修会の開催協力、厚生労働省保健指導室との連携・調整等を行っています。

今年度は「未来を見据えた公衆衛生看護活動の展開～予防活動の実践、そして地域に根づく保健師活動の継承～」をテーマに、各委員会での活動を通じて保健師の効果的な人材育成や体制強化等に取り組んでいます。広報委員会としては、広報紙等を通じて、その活動を全国の保健師に届けたいと考えています。

また、10月に茨城県でブロック別研修会、11月には徳島県で第47回全国保健師長会代議員総会が開催され、基調講演や自治体保健師の実践報告等が予定されています。会員の皆様向けに動画の配信等も行いますので、是非御覧ください。

全国保健師長会委員会活動のご紹介

健やか親子特別委員会委員 鈴木 祐美さん(栃木県県北健康福祉センター)

健やか親子特別委員会では、地域における母子保健活動の質の向上に資するため、「保健師の母子保健活動について可視化して発信すること」を目的とした活動を行っています。

改正児童福祉法により、母子保健と児童福祉が一体的に支援することも家庭センターの設置が市町村の努力義務となり、ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの連携強化がますます重要となっているところです。

このような中、こども虐待への関心が高まり、母子保健においても複合的な課題を有するケースへの対応が増える一方で、全ての親子を対象に予防的な視点を持って健康を守るポピュレーションアプローチの意義を経験から学ぶ機会が少なくなっていることが、全国的に課題となっています。

そこで、本委員会では、令和5年度から、新任期保健師等に対する研修資料作成に必要な情報収集の方策について検討を重ね、今年度は、市町村のベテラン保健師を対象に母子保健活動における先駆的取組や現任教育の現状、保健師として大切にしていることや課題などについて、ヒアリング調査を実施することとなりました。

平成6年の母子保健法の改正により、母子保健が都道府県から市町村へ権限移譲されてからすでに30年近くが経過しているため、本委員会は私以外の全員が市町村保健師で構成されています。他の委員の母子保健に係る活動経験や知見の深さに圧倒される反面、県健康福祉センターにおける母子保健の役割についても考える良い機会であると捉えています。力不足ではありますが、会員の皆様にも御意見をいただきながら活動して参りたいと思いますので、御協力をお願いいたします。



全国保健師長会委員会活動のご紹介

調査研究委員会 福原 円さん(小山市)

《委員会の活動内容》

全国保健師長会では、実践知としての公衆衛生看護活動の可視化、日々の保健活動の評価、保健師の現任教育等の推進を図ることを目的とし、毎年調査研究事業を募集しております。令和7年度は「未来を見据えた公衆衛生看護活動の展開」をテーマとして募集をしました。当委員会は4名の委員と2名のオブザーバーの計6名で構成され、会員の皆様が当事業を活用して調査研究しようとする際の研究計画立案の事前相談及び助言、調査研究事業の採択、評価等を行っております。また、日本公衆衛生学会・全国保健師長会代議員総会において当研究事業のPR等を実施しています。

《活動所感》

私は、数年間委員として携わらせていただいておりますが、委員会の活動を通じて、全国の先進的かつ積極的な保健師活動を知ることができ、刺激をいただくとともに、他の委員の方やオブザーバーの先生方のご意見を拝聴できる機会は、私自身が日頃の保健師業務を行う上でも自身が成長できる本当に貴重な経験となっています。

《会員の皆様へ》

現在、どこの自治体も財政状況は厳しく、また保健師業務も繁忙を極めており、通常の業務に加え「調査研究」に取り組むことは困難な面も多々あるかと思っておりますが、一方で、少子超高齢社会、人口減少が深刻になる中、保健師には、複雑かつ多岐に渡る健康課題への高い分析力と対応力が求められています。現場の皆様には、この調査研究事業をぜひ有効に活用していただき、実践知としての公衆衛生看護活動の可視化、日々の保健活動の評価、保健師の現任教育等の推進を図っていただきたいと思います。

当会の調査研究事業は、毎年1月～3月にかけて募集を行っております。全国保健師長会のホームページから提出書類を入手していただけますので、ぜひお申込み下さい。

たくさんのご応募をお待ちしております！



お知らせ

☆第2回 栃木県支部研修会のご案内☆

第1回研修会后、再度の聴講を希望する声が多数ありましたので、第2回も獨協医科大学看護学部の守田先生をお招きいたします。🎵

中堅期保健師は、日々の業務の中核を担っており、保健師としてのスキルアップや次期リーダーとしての認識、後輩指導等、次世代の保健活動を担うための多くのことが求められている一方で、産育休や社会人採用等、その経験や力量についての不安等を抱えている現状があります。今後の社会情勢の変化に対応し、保健活動を牽引していける人材としての成長をサポートするため、必要なOJTについて学びます。

たくさんのご参加をお待ちしております。

1日時 令和7年11月22日(土) 10時~12時(受付開始9時45分~)

2場所 とちぎ福祉プラザ 福祉研修室AB

3講演 「管理期保健師が今、学ぶべきOJT

第2弾

~中堅期保健師のモチベーション向上を目指して~

4講師 獨協医科大学看護学部/大学院看護学研究科

特任教授 守田孝恵 氏

非会員も参加可能！
中堅期の方も是非！

○北関東・甲信越ブロック研修会

※申込み 9月24日(水)までに栃木県支部 若林副支部長宛てメール下さい。

1目的 現場リーダーである管理期保健師が公衆衛生の実践から得た地域の課題を共有し、未来を見据えた持続可能な地域づくりを目指す保健師の人材育成と公衆衛生看護活動の実践について学びます。

テーマ「未来に紡ぐ統括力と公衆衛生看護活動の実践」

~2040年を見据えた地域に根づくマネジメントと保健師人材育成~

2日時 令和7年10月25日(土) 13時~16時30分

3方法 集合形式(後日配信予定あり ※配信はグループワークを除く)

4会場 イーアスホール 商業施設 イーアスつくば インモール 2階

アクセス: <https://tsukuba.ias.jp/access/index.html>

5主催 全国保健師長会北関東・甲信越ブロック理事:茨城県

○全国保健師長研修会

※申込み不要:後日、保健福祉課からURLの提供があります。

1目的 地域保健活動における保健師の果たす役割の重要性に鑑み、効果的な保健活動を展開していくための指導者として資質向上を図る。

テーマ「2040年を見据えた保健師活動」

~予測困難な時代(VUCAの時代)における保健師活動のあり方とは~

3日時 令和7年11月14日(金)10時~16時30分

4方法 リモート開催

5主催 徳島県及び日本公衆衛生協会